

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

SRS CS Autoの設定をする (FIXD)

エフェクトモードでのみ設定できます

SRS CS Auto™とは

Circle Surroundデコーダーによる車載用に特化したサラウンドシステムです。また、センタースピーカーやサブウーファーを使用せずに、5.1 chに相当する音場を再現できます。

1 オーディオチューン画面(P.120)から ◀▶で「SRS CS Auto」を選ぶ



- 選ぶごとに、音響効果が切り替わります。
音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF

2 詳細設定を選ぶ

3 設定する項目を選ぶ

● FOCUS

感覚的に耳の高さから音が聞こえるように設定できます。

● TruBass

低音の強さを設定できます。
サブウーファー使用時は重低音を楽しめます。

● MixToRear

フロントチャンネルにセリフとBGM、リアチャンネルに効果音などが収録されているDVDなどは、後席ではセリフが聞き取りにくい場合があります。Mix To Rearを設定すると、リアスピーカーにフロントチャンネルの成分(セリフなど)もあわせて出力されるので、サラウンドの臨場感を保ったまま、後席でもセリフなどを聞きやすくできます。

お知らせ

- AUDIO OFFや、高音質モードの状態では設定できません。
- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。
- エフェクトがSRS CS Autoのときは、FADE/BALANCEを調整しても効果がありません。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、FADE/BALANCEの設定が有効になります。
- エフェクトをSRS CS Autoに切り換えると、イコライザーは自動的に「OFF」に切り換わり、設定できなくなります。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、イコライザーを設定できるようになります。
- SRS CS Auto設定時にスピーカー設定を調整しても、効果がありません。

4 各項目を設定する

[太字:お買い上げ時の設定]

● FOCUS: 調整範囲: 0~4~8



● TruBass: 調整範囲: 0~4~8



● MixToRear: 調整範囲: 0~4~8



DSPの設定をする

騒音適応モード/エフェクトモードでのみ設定できます

1 オーディオチューン画面(P.120)から ◀▶で「DSP」を選ぶ



- 選ぶごとに、音響効果が切り替わります。
音の匠→SRS CS Auto*1*2→DSP→OFF

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



- H A L L: コンサートホール風の音場
- STADIUM: スタジアム風の音場
- CHURCH: 教会風の音場
- L I V E: ライブハウス風の音場

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、SRS CS Auto*1、DSPを同時に設定することはできません。

- *1 (FIXD)のみ
- *2 エフェクトモードのみ

車速連動音量を補正する

高音質モード/エフェクトモードでのみ設定できます

車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

オーディオチューン画面(P.120)から 車速連動VOL補正の補正量を選ぶ



- HIGH MID LOW OFF
(補正大) (補正中) (補正小) (補正なし)

ノイズ連動音量を補正する

騒音適応モードでのみ設定できます

車内の走行騒音に連動してオーディオの音量や音質を自動的に補正します。

オーディオチューン画面(P.120)から ノイズ連動VOL補正の補正量を選ぶ



- HIGH MID LOW
(補正大) (補正中) (補正小)

お知らせ

- 走行状態やマイクの設置位置によっては、効果が大きくなる場合があります。
- 効果を大きく感じる場合は、より小さい補正量を選択してください。